

ひとつ葉 秋めぐり2024 2024年9月21日～11月24日

サステナクイズラリー 問題・解答・解説

●みやざき臨海公園

Q: 海洋ごみの量が年々増えてきています。

中でも、私たちが使っているペットボトルやビニール袋などの大量のプラスチックごみが海へ流出することが問題になっています。年間、どれぐらいの量が海へ流れ出ているでしょうか。

- ① 9万トン～14万トン
- ② 90万トン～140万トン
- ③ 900万トン～1400万トン

A: ③900万トン～1400万トン



「みやざき臨海公園に流れ着いたゴミ」

【解説】

海洋ゴミの中で一番多いのはプラスチックごみで、世界に合計1億5000万トン以上の量が存在していると言われています。さらに毎年新たに大量のプラスチックごみが流れ出ている。2050年の海は、魚よりごみの量が多くなると言われるほど問題は深刻です。海洋ゴミの7～8割は街から海に流れ出たもの。ゴミをきちんと分別し、ゴミが海に流れ出ないように一人ひとりが意識して、行動することが大事です。

●県立阿波岐原森林公園

Q: 一ツ葉入り江は海とつながり、潮の満ち引きによって砂浜や泥地が出現する干潟です。干潟には貝や魚、カニなど多くの生き物が生息しています。カニの仲間で、砂浜に1cmほどの巣穴を掘り、砂についた藻などを食べ、いらぬ砂は団子にして捨てている種類がいます。このカニの名前はなんでしょう。

- ①イソガニ
- ②コメツキガニ
- ③ズワイガニ

A: ②コメツキガニ



コメツキガニ (ウィキペディアより)

【解説】

コメツキガニは干潟に生息している約1cmの小さなカニです。砂についている栄養分を食べ、そのあと食べた砂を砂団子にして、巣穴の近くに吐き出します。人が近づくとすばやく巣穴に隠れてしまいますが、じっと観察していると巣穴から出てきて食事をする様子が見られます。干潟の有機物を食べることで、干潟をきれいにする役目も果たしています。

●フェニックス・シーガイア・リゾート(ラグゼーツ葉)

Q: ーツ葉地区の人たちが、その昔、かまどやお風呂の焚き付け、霜よけに使っていたのは何でしょう

- ① 松の木
- ② 松ぼっくり
- ③ 松葉

A: ③松葉



【解説】

ガスや電気が普及する以前、海岸の近くに住んでいる人は海岸林として植林された松林に入って松葉や落ちた枝などを集め、煮炊きをしたりお風呂を沸かしたりなど日々の生活に利用していました。松葉は火力が強くておいしいご飯が炊けていたそうです。また松葉かきをした松林には「ショウロ」と言われるキノコが生え、採って食べていたそうです。今は松葉かきをすることもなくなり、白砂青松と言われた日本の原風景を見られるところは少なくなっています。

●フェニックス・シーガイア・リゾート(アクティビティーセンター)

Q: ホテル内のレストラン「パインテラス」では、ある野菜が原料の『ポリ乳酸樹脂』100%で作られたお子様用食器を使用しています。何の野菜でしょうか？

- ①とうもろこし
- ②じゃがいも
- ③かぼちゃ

A: ①とうもろこし



【解説】

「パインテラス」では、とうもろこしが原料の『ポリ乳酸樹脂』100%で作られた、お子様用食器を使用しています。この製品は使用用途を終えた後、土中に埋設するとバクテリアによる酵素分解により最終的に水と二酸化炭素のみに生分解される地球環境にやさしい製品です。

●宮崎市フェニックス自然動物園

Q:動物園では、動物たちがした「うんち」を、どのように処理しているでしょうか？

- ① 捨てる
- ② そのまま
- ③ 堆肥にする

A:③堆肥にする



【解説】

動物園では動物たちが毎日たくさんの「うんち」をします。それを堆肥にして畑や花壇の土に混ぜて、資源を循環させています。動物園で作る堆肥は土をふかふかにして、野菜や草花が良く育ちます。